



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第383号

感謝・青木神父 歓迎・谷口神父様

「聖週間と御復活」が終わりました。これを機に水巻教会の主任神父様が入れ替わります。昨年10月6日に李昇炫神父様が御帰天されて以降、それまで教会管理者として月に一回、司式をされてこられた青木悟神父様か、ほぼ毎週にわたって司式を執り行って下さいました。青木神父様は本部事務局の責任者としての職責がありながらの激務の中を、水巻教会信徒のためにさまざまに骨を折ってくださったこと、本当に感謝に堪えません。ありがとうございました。

4月28日以降は、青木神父様に代わって谷口 尚志神父様が水巻教会の主任司祭として常駐されます。暖かくお迎えしましょう。

谷口神父様赴任以降のスケジュールを簡単に紹介しましょう。6月23日には「信徒総会」が開かれます。現信徒会長の田中 拓さんが、北九州地区信徒会の会長に就任したことから、水巻教会信徒会の会長兼務は荷が重いとのことから、会長を降り副会長として補佐役に徹したい旨申し出があったところです。これまでご苦労様でした。

日程は決まっていますが7月、8月には教会学校を中心としたキャンプ。

11月には、教皇フランシスコの来日に合わせて長崎への旅行が予定されています。日程は教皇様の詳細なスケジュールが明らかになっていないので、明確には書けませんが、決まり次第、紙面でも紹介していきます。



マリア様のころこ	2面
世界三大宗教を知る	3面
委員会報告	4面
教皇フランシスコツイッターより	5面
幼稚園から	6面
教会学校より	7面
洗礼・初聖体	7面
お知らせ・今月の聖人	8面



マリア様のこころ

青木神父

5月は聖母月です。教会は、ことあるごとにマリア様の記念を行っています。あくまでも、マリア様を通してイエス様に導かれるためということです。

私事ですが、今年は、ルルドで年を越すことが出来ました。12月31日深夜11時30分から洞窟でのミサにあずかり、新年を迎えました。洞窟の周りには100人以上の人がいたと思います。年末でホテルも閉まっているところが多く、ルルドの巡礼者も少ないものでした。

ミサ参加者の多くは、地元の人ではないかと思います。20人ほどの司祭がいました。ミサを司式されたのは、地元の司教様です。ミサの前に、共同司式される神父様方と言葉を交わされていました。どこから来たのかと言われ、私たちは日本からですと伝えました。他にアメリカのテキサス州からという司祭もいました。

ミサの始めと終わりに、司教様は参加した人の中に、遠くアメリカや日本から来られた司祭がいることも紹介して下さい、寒い中でしたが、温かい雰囲気でのミサでした。そのミサの中に、ルルドに滞在している日本人の方がおられ、ミサの後に言葉を交わしました。その人によれば、ルルドの司教様は、マリア様は私たちをイエス様に導くために出現されたことを、よく言っておられるそうです。奇跡というより、イエス様の生き方に目を向けさせるためのご出現だということを書いておられるということです。

ともに巡礼に行った私たちの中で、広場に立っているマリア様はどこを向いておられるのかが、話題になりました。遠くから巡礼に来る人を迎えるように、外に向かっておられるのかというとそうではありません。広場に立って、人々がやってくるのとは反対の方向を向いて立っています。その方向にはルルドの聖堂があります。つまり、マリア様は、聖堂のご聖体、イエス様に向かって祈る姿で立っているということです。ルルドにやってきた巡礼者を、イエス様に向かうように促している姿です。

5月になり、もう一度、ルルドのマリア様のことを思い起こし、イエス様に向かう心を新たにしたいと思います。

(世界三大宗教を知る)

キリスト教 (1)

キリスト教についての解説とは「釈迦に説法」と言われると思います。まさにその通りです。今回は最初にカトリックではない東方キリスト教のオードソックスと呼ばれる正教について少し書いてみたいと思います。

ギリシャ正教についての本もイスラム教と同じで書店で見つけることができませんでした。そのため私がこれまで見聞してきたものを書いて見ようと思います。

ギリシャ正教が誕生した背景を知るには、イエス様誕生の時代のローマ帝国の歴史から始める必要がありますので、少し遠回りするかも知れませんが、そのあたりから書きます。

イエス様が誕生するころのローマ帝国の皇帝は初代アウグストゥスの時でした。「そのころ皇帝アウグストゥスから全領土の住民に登録をせよとの勅令が出た」(ルカ2章1節)

ローマ帝国が誕生して数百年間、皇帝はいませんでした。国の政治は貴族階級の議会のような元老院制度が発達していて、元老院議員からリーダーを選出して国を運営していました。紀元前一世紀の年代に偉大なユリアス・カエサル将軍というリーダーが現れました。カエサルはジュリアス・シーザーとも言われます。カエサルによってローマ帝国は広大な領土を獲得しました。しかし、数年もの長期の遠征を終えたカエサルは軍隊を率いてローマに凱旋しようとしたが、彼が長期の遠征に出ている間に本国は彼を除外する体制になっていました。そのころローマの軍隊は許可なく直接遠征地からローマに入ってはいけないことになっていたのですが、カエサルは自分の反対勢力を威嚇するため国境のルビコン川を越えてローマに進軍して権力を取り戻しました。ところがその後、元老院の陰謀により腹心の部下であるブルータスに暗殺されてしまいます。この時にカエサルは「ブルータスお前もか」と言って倒れます。この言葉は有名ですが、「ルビコン川を渡る」という言葉も、危険なことの一線を越える例えとして今も使われます。このような混乱を経て皇帝制度が生まれることになりました。そして誕生したのが初代皇帝のアウグストゥスでした。

ルカ3章1節には「皇帝ティベリウスの・・・」とあります。紀元4年に初代皇帝アウグストゥスは死去しティベリウスが2代目の皇帝になりました。イエス様が成人してからの皇帝はティベリウスでした。

このころのローマ帝国は強大で領土も今の国で言えばイギリス、ドイツ南部、フランス、スペイン、トルコ、エジプトなど北アフリカの地中海沿岸とイラク近くまでがローマ帝国でした。特に北のほうへの領土拡張に貢献したのがカエサルでした。

ローマ帝国の領土が広大になったので、東の帝国領土を守るためにコンスタンチンノーブル(今のイスタンブール)にも東の都をおきました。ローマ帝国が二つの都をもったことがキリスト教会の歴史にも大きな影響を残すことになりました。

この時代のローマ帝国については、塩野七生さんの長編「ローマ人の物語」に詳しく書いてあります。ただし、かなりの長編です。

(広報 岩本)

委員会等報告

2019年4月分

4月度小教区委員会 4月7日

1. 行事予定

- ・5月12日(日) 小教区委員会
総会資料 一次確認
- ・5月19日(日) 納骨堂利用者集会
- ・6月9日(木) 小教区委員会
総会資料印刷
- ・6月16日(日) 総会資料配布
- ・6月23日(日) 総会開催

2. 議題

(1) 各委員会報告

① 広報委員会より

アンケートでいただいたアイデアは順次、編集に反映しています。

② 冠婚葬祭委員会より

式次第の劣化が激しく、部数も少なくなってきたので、改訂・更新を考える。

通夜、葬儀ミサの司会者用手順書を作成していく。

③ 典礼委員会より

カップ式のろうそくを150個購入。

④ 納骨堂委員より

- ・5月19日に納骨堂利用者集会を開催する。
- ・火葬証明書など必要書類が揃っていないものが多い。
- ・必要書類の提出を、利用者集会を通じて呼びかける。

(2) 新しい地区割りについて

中間地区より単独での活動は厳しいとの要請があり、地区割りを下記4地区編成に見直すこととしました。

芦屋・遠賀地区

梅ノ木・吉田・中間地区

赤間・海老津地区

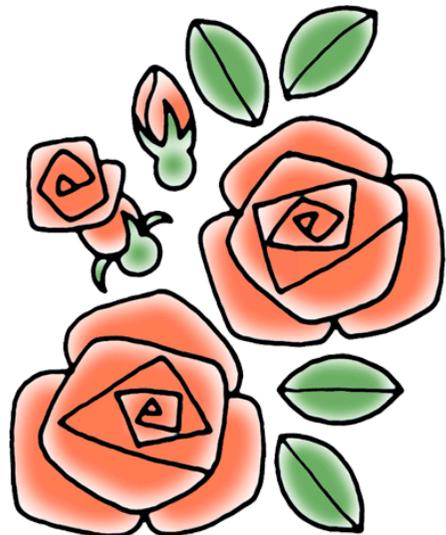
折尾・高須青葉地区

(3) その他

神父様車庫横のブロック塀を撤去したいとの要望が幼稚園からありました。

園児が通るのに狭く、危ないとのこと。青木神父様からも車庫から車を出す際、死角になるので危ないと感じていたとの意見があった。安全に関わることなので、幼稚園には了解の旨、回答しました。

また、園児の安全確保のため、監視カメラがいくつか設置されます。



教皇フランシスコのツイッターから、最近の投稿を掲載します。**2019年4月16日**

今日わたしたちは、祈りにおいてフランスの皆さんと一つになっています。深刻な被害をもたらす苦悩が、再建による希望へと変えられていくことを待ち望んでいます。わたしたちの聖母、聖マリア、わたしたちのためにお祈りください。

2019年4月17日

キリストは、若者も老人も、聖人も罪びとも、当時の人も現代の人も、わたしたち一人ひとりを愛しておられるから、死んだのです。

2019年4月18日

ご聖体のうちに、皆さんは本当の意味でイエスに出会い、そのいのちを共有し、その愛を実感します。イエスの死と復活は、皆さんのためだということを、そこで体験するのです。

2019年4月19日

十字架につけられたキリストの、開かれたみ腕にまなざしを向け、キリストが救われるのに自らをゆだねてください。愛のために流されたキリストのおん血を黙想し、そのおん血によって清められてください。こうして皆さんは、新たに生まれることができます。





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 5月のお知らせ

今年度が無事に終わりますこと、皆様に感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

去る4月13日(土)に第57回 入園式を行いました。天気にも恵まれ、33名の可愛い子どもたちが式に参加しました。年長児の歓迎の挨拶や、歌う姿もみんな憧れのまなざしで見っていました。新入園児が年長児と一緒に手を繋いで入堂する姿、「入園おめでとうございます」と言葉をかけながら、ペンダントをかけてあげる姿を見て縦割り保育の温かさや育ち合いを感じました。



これからも子ども達一人ひとりが安心して過ごせるように寄り添い、成長を見守って参ります。

【聖母のつどい】

TEL : 093 201 9559

・日 時 : 5月31日(金)

e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

入園式に満開だった桜も散り、4月も半ばを過ぎ、すっかり春めいてきました。新入園児さん達も、在園児と一緒に、お仕事や戸外遊びを楽しんでいる様子が見られるようになり、職員一同ほっとしているところです。

12日から子ども達と一緒に、マリアの畑に胡瓜やピーマン、茄子を植えています。プラントナーにはトマトや西瓜、枝豆を植えてみました。

元気な子ども達と一緒に、日差しを糧に豊かに育ちますように！



TEL : 050 5212 7759

HP: 水巻町マリア子どもの家

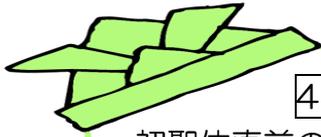
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長シスター松川明子 教職員一同





教会学校のページ



4月14日 出席者 山田蓮さん、樽角樹祈さん

初聖体直前の樽角樹祈くんが、赦しの秘跡を受けました。

準備期間の中で、赦しの秘跡の意味も勉強してきました。赦しの秘跡によりきれいな心でイエス様をお迎えすることができます。このからしだねが読まれるころは、神様の子どもとしてまた一つ成長した樹祈くんの姿が見られることでしょう！

洗礼・初聖体

4月21日「ご復活の主日」に洗礼式と初聖体式が行われました。洗礼を受けたのは、宗 友和さん、恵美さんの次男 宗 春杜くん。洗礼名はルカ。代父は小倉教会の小出 豊さんでした。

洗礼前、少しむずがっていた春杜くんでしたが、洗礼を受けるときには、むずがる様子もなく、おとなしく洗礼式を受けていたのが印象的でした。おめでとう。

初聖体式は樽角 樹祈くん(小学二年生)が、侍者をしながら初めての聖体を拝領しました。侍者を初めて丸一年、いつもご聖体をいただく方の様子を見て、うらやましそうにしていた樹祈くん。この日ばかりは嬉しそうにご聖体を授かっていました。



5月のみしらせ

★特別献金★

4月14日 カテドラル特別献金
30,500円
ご協力、ありがとうございました。

★納骨堂利用者集会★

日時：5月19日(日) ミサ後
納骨堂利用者集会を開催します。関係のある方はお集まりください。

★レプトン会より★

2018年度の会計報告をしております。納入袋の中に入れております。お取りください。

★聖母月です★

5月は聖母月です。そのため、ミサの始まる前にロザリオを唱えます。

★特別寄付★

野原弥栄子さんからご寄付をいただきました。ありがとうございました。



【帰天】安らかに！

3月1日
◇野原 義弘さん(吉田地区)
3月31日
◇浅田 広子さん(梅ノ木地区)
4月10日
◇片岡 悟さん (海老津地区)

【洗礼式】おめでとう！

4月21日(日)
◇宗 春杜(はると)くん
洗礼名 ルカ



今月の聖人 12日 **聖パンクラチオ殉教者** 289年ごろ-304年

聖パンクラチオは小アジア(トルコ)のフリジアで生まれました。両親はローマの市民権を持っていました。母親のクレオニアはパンクラチオが生まれる際に亡くなり、パンクラチオが8歳のとき、父親は彼を残して去ってしまいました。彼は叔父に育てられ、後にローマに移り、そこで受洗しました。その後熱心な信者となりましたが、ローマ皇帝ディオクレティアヌスのときに捕らえられました。ローマの神々に犠牲をささげ、皇帝に忠誠を誓えば、富と権力を与えると約束されましたが、彼は拒否しました。パンクラチオの強い信仰は皇帝の怒りを買ひ、最後は首を斬られて殉教しました。

遺体はカタコンベ(ローマ)に埋葬され、500年、聖シンマコ教皇は聖パンクラチオの墓の上に大聖堂を建てました。現在、大聖堂にはパンクラチオの遺骨が収められています。

